

月刊 Gs グラフィックサービス No.883 2025 6

ジャグラ作品展 地元賞
東京都知事賞



株式会社アイト
着物手帳2025

株式会社アイト
代表取締役
谷口 美保さん

株式会社アイト
営業部企画担当
大友 康子さん

■ 巻頭企画

令和6年度 ジャグラ作品展入賞作品を決定

経済産業大臣賞にオリンピア印刷(株)、長瀬印刷(株)
厚生労働大臣賞に(株)ガリバー、(株)クリエイト横浜

■ 巻頭言

駆け出しからジャグリスト、そして…

—— 理事 / 作品展委員会委員長 / 岩手県支部 / 株興版社代表取締役 戸来 一裕

■ 特別企画

今宵のサスティナ酒場 ~店主のつぶやき~

■ 連載 SPACE-21 広報部

Next-Oitalについて

■ 寄稿 論文

同業社コミュニティの形成と印刷産業発展の可能性について

- インタビュー分析による他己紹介をワークショップの契機として -

—— 璃月ゆあ (岡本悠里)

■ NEWSとお知らせ

ジャグラテスト受験者募集

暑中名刺広告大募集

CONTENTS

■ 巻頭言

1 駆け出しからジャグリスト、そして…

理事・作品展委員会委員長
岩手県支部/(株)興版社代表取締役 戸来 一裕

■ 巻頭企画

2 令和6年度 ジャグラ作品展入賞作品を決定

経済産業大臣賞にオリンピア印刷(株)、長瀬印刷(株)
厚生労働大臣賞に(株)ガリバー、(株)クリエイト横浜

■ 特別企画 サスティナブル委員会

22 今宵のサスティナ酒場

～店主のつぶやき～

■ 連載 SPACE-21 広報部

20 Next-Oitaについて

■ 寄稿 論文

24 同業社コミュニティの形成と印刷産業発展の可能性について

-インタビュー分析による他己紹介をワークショップの契機として-

璃月ゆあ (岡本悠里)

■ NEWSとお知らせ

8 ジャグラテスト受験者募集

9 暑中名刺広告大募集

■ NEWSとお知らせ

10 JFPI REPORT ダイジェスト版

11 ジャグラBBホットニュース

26 業界の動き

ホリゾン・ジャパン ソリューションフェアを開催

滋賀県 大阪・関西万博でガリ版体験

厚労省 7月から全国安全週間スタート

中小企業庁 ものづくり補助金の公募を開始

モリサワ×ジャグラ InDesign オンラインセミナー開催

ジャグラ 業態進化委員会 ウェビナー開催

Next-Oita 第9回通常総会を開催

FACE 第16期総会 報告

19 雑学コラム⑩

29 事務局日誌と今後の予定

12 (株)小森コーポレーション

13 ホリゾン・ジャパン(株)

14 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)

15 リコージャパン(株)

16 (株)ショーフ

17 (株)モリサワ

18 東京リスマチック(株)

19 (株)研美社

21 JaGra グループ保険

表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

| | | | |
|------|------------------------------------|------|----------------------|
| 発行回数 | 月1回/年間12回 | 配布方法 | ・全会員へ直接郵送 |
| 購読料 | ジャグラ会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布 | | ・ジャグラホームページからのダウンロード |

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話03-3667-2271 ファクス03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

駆け出しからジャグリスト、そして…

理事・作品展委員会委員長
岩手県支部/(株)興版社代表取締役

戸来 一裕



私がジャグラに関わったきっかけは、ちょうど20年前、先代から引き継いで支部の理事会にオブザーバーとして初めて参加したことからになります。その頃はまだアラフォーということもあってか、今ほど(今でも?)物の分別も無く、諸先輩方を前にして「くわえたばこ」で「かったりいなあ」的な小生意気な態度を取っていたところ、当時、事務局長でおられた鍋 健男さん(現 五六堂印刷 会長)から「貴様、何様のつもりでおるんか」と一喝され、一気に意気消沈したのを今でも忘れられません。

そこから2年間、平理事として下積みをしたのち、諸先輩方からバトンを引き継ぐ形で支部三役に任命され、以来15年間、現在も支部活動の中核を担っております。

その間に東北地協総会岩手大会や支部60周年記念式典祝賀会・記念誌発刊などの行事に携わることで様々な経験を積みましたが、その中でも特に印象深く残っている行事と言えば、何と云っても2017年6月に盛岡で開催した「第59回ジャグラ文化典岩手大会」にどっぷりと頭まで浸って関わったことです。2011年3月11日に発生した東日本大震災から3年経過したタイミングで、当時、東北地協会長(本部副会長)でおられた熊谷正司さん(くまがい印刷 社長 現 本部相談役)がこれまでのご支援に対する感謝の意と御礼を示すとともに、復興の軌跡を表したいとの思いから、3年後の文化典を東北の地で、ということになり地協幹事会で協議した結果、「岩手県支部担当で開催」が内定され当時の高橋雅光支部長が内諾したのですが、震災後のままならぬ状況もあり支部理事会では受けるか否かの意見が右往左往しましたが、最終的には執行部主導で正式に受諾しました。その責任からか私は裏方の事務局長として、先輩の式典・懇親会担当の向井一澄さん(大更印刷 社長 支部事務局長)とともに2年半間、企画・運営の立ち上げからあらゆる手配に至るまで大会開催準備に携わりましたが、開催1年前に実行委員長が交代するなど、幾多の苦難を乗り越えて何とか大会を迎えました。大会期間中

も現場責任者として様々な対応に追われ四苦八苦しましたが、何とか無事に大会全行程を成功裡に終えたことで安堵すると同時に、ようやく全国のジャグリストに仲間入り出来たのだと感じました。

その後はコロナ禍もあって表舞台に出ることはありませんでしたが、2年前の1月、支部新年交賀会に岡本会長が出席され初めてお会いしたところから事態が急変しました。偶然にも同じ昭和42年生まれの末年でバブルの申し子(笑)ということで意気投合したことをきっかけとして、その後、数回のアプローチを経てあれよあれよと言う間に会長推薦での全国理事、そして作品展委員会委員長にまで任命して頂くということでもとうとう表舞台にデビューしました。

この1年間は主に作品展委員会委員長として、与えられた責務を果たすべく誠心誠意取り組んで参りました。委員会メンバーの方々のサポートもさることながら、何よりも全国のジャグリストの皆さんから多数の作品応募のご協力を頂戴したおかげで、無事に責務を果たすことができ安堵いたすとともに、皆様のご協力に深く感謝いたします。

来たるジャグラ文化典東京大会において作品展の表彰式がございますので、全国のジャグリストの皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



巻頭企画

令和6年度

ジャグラ作品展 入賞作品を決定

経済産業大臣賞にオリンピア印刷(株)、長瀬印刷(株)
厚生労働大臣賞に(株)ガリバー、(株)クリエイト横浜

令和6年度ジャグラ作品展の最終審査会が2025年4月23日、ジャグラ本部で行われ、経済産業大臣賞・厚生労働大臣賞など、4部門（出版部門、宣伝部門、業務用印刷部門、開発・開拓部門）と、ジャグラ70周年東京大会に合わせて付与された地元賞・東京都知事賞ならびに東京都産業労働局長賞の受賞作品が決定しました。

今年も岡本会長ならびに作品展委員会主導のもと、会員の皆様へと募集を呼び掛けた結果、昨年同等の623点の作品ご応募を頂戴しました。改めてご参加いただきました会員の皆様に御礼申し上げます。

今年度は令和6年1月1日から12月31日まで印刷（完成）された作品を対象に令和7年3月31日まで募集し、昨年同様に第一次審査・第二次審査会を4月8日、9日の2日間にわたり開催。通過作品の中から4月23日の最終審査会で入賞作品を決定したものです。



最終審査会

| 部門 | R 6年の応募 | 通過作品数 | 賞の数 |
|-------------|---------|-------|------|
| [A] 出版部門 | 93 | 21 | 9以上 |
| [B] 宣伝部門 | 187 | 20 | 6以上 |
| [C] 業務用印刷部門 | 196 | 26 | 8以上 |
| [D] 開発・開拓部門 | 147 | 24 | 7以上 |
| 合計 | 623 | 91 | 33以上 |

地元賞



東京都知事賞

着物手帳2025
(株)アイト/東京・文京支部



東京都産業労働局長賞

富士フィルム・フォトコレクションII
世界の20世紀写真「人を撮る」
望月印刷(株)/東京・城東支部

経済産業大臣賞

目で見ると馬術

オリンピア印刷(株)/大阪府支部



経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞

JiLL Wreath Book II

～手作りリース、季節の24レシピ～

(株)リーブル/高知県支部



全国中小企業団体中央会会長賞

ふるさと伊野部のあゆみ 補遺

人々の暮らしと正福寺

サンライズ出版(株)
滋賀県支部



(一社)日本印刷産業連合会会長賞



ぜんまい屋の豆暦

(株)山田写真製版所
石川県支部



(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞

あすなろ小学校は今日もにぎやか

中央印刷(株)
山形県支部



印刷時報(株)賞

近江学 第15号

サンライズ出版(株)
滋賀県支部



(株)印刷出版研究所賞

おなかのボタン

(株)リーブル
高知県支部



作品展審査会委員長賞

琵琶湖の魚類図鑑

サンライズ出版(株)
滋賀県支部



特別賞

写真集『世界をまとう』

あさひ高速印刷(株)
大阪府支部



佳作

志士たちの詩想

(株)ニシキコネクト
広島県支部



出版部門

経済産業大臣賞

ブラックライト カクテルメニュー2種

(①かんのん折り、②中綴じ)
長瀬印刷(株)／福島県支部



経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞

レコード盤を再現したダイレクトメール

(株)ガリバー／神奈川県支部



全国中小企業団体中央会会長賞

BOTEJYU GROUP 1946 会社案内 日本語版・英語版

(株)文伸
東京・三多摩支部



厚生労働大臣賞

年賀状が、ヘビをテーマにしたカード ゲーム!?顧客からの反響が大きく、 商品として販売が決定!

(株)ガリバー／神奈川県支部



厚生労働省人材開発統括官賞

カルタ Livewith Parkinson パーキンソン病と共に生きる

サンライズ出版(株)／滋賀県支部



全国中小企業団体中央会 会長賞

高知大学南溟寮100周年誌

(有)近森謄写堂／高知県支部



(公社)日本印刷技術協会会長賞

うどん帳

(株)野毛印刷社
神奈川県支部



(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞

2025年 太陽系カレンダー

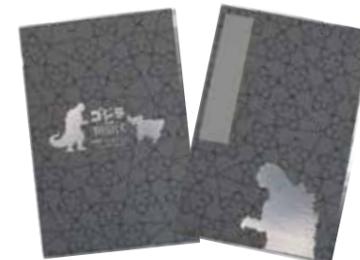
(有)エンドースクリーン
福島県支部



日本印刷機材協議会会長賞

新宿Azaleeプロジェクト &ゴジラコラボ (集印帖)

N S 印刷製本(株)／東京・新宿支部



(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞

広島大学75年史

(株)ニシキコネクト／広島県支部
函・口絵デザイン：
(株)ユニバーサルポスト
(株)フロンティア



作品展審査会委員長賞

2023年度研究室活動報告書 (ANNUAL REPORT)

(株)遊文舎
大阪府支部



佳作 三角形 会社案内

(株)文成社／東京・文京支部

印刷タイムス(株)賞

ユニパルス株式会社 2024-2025 センサ&計測機器 総合カタログ

情報印刷(株)
神奈川県支部



作品展審査会委員長賞

日めくりカレンダー

あさひ高速印刷(株)
大阪府支部



佳作

2025年(株)文伸の年賀状

(株)文伸
東京・三多摩支部



特別賞

山本明美教授 退任記念誌

(株)あいわプリント
北海道支部



審査講評

(最終審査会委員講評より抜粋)

一般消費者の視点で、持って帰りたいと思うような作品を選んだ。開発・開拓部門で紙を主軸としない、スマートフォンやAI、VRなどを用いた新たな領域のデジタル作品が非常に増えている。今後、審査基準を見直す必要性を感じた。

デジタルコンテンツだけでなく、マンガなどイラストを用いることで本来、難しかったり硬い内容の書籍を伝わりやすくしたものなど、見せ方に工夫を凝らしたものもあつた。このほかにも可読性を考えた組版の書籍やデジタルとコラボした印刷物、箔押し加工で迫力ある表紙を表現したもの、活版からデジタル印刷まで駆使した作品があつた。

そんな中でも小さな日めくりカレンダーや、立てる付箋など既存の印刷物の切り口や発想を変えることで新たな価値を生み出した作品もあり、印刷はまだ可能性があると感じることができた。

消費者に訴えかけるものからプロ目線で評価される技術力まで裾野を広く見ることができた。一方で環境配慮を前に打ち出した作品が少なかった点は業界にとって今後の課題として挙げる。

入賞作品の表彰及び展示は、今年6月21日に開催されるジャグラ文化典東京大会で行われる。また、入賞作品をはじめ今回の応募作品の一部は7月27日(日)、28日(月)に東京・晴海のはるみらいで開催予定の「印刷屋さんのお仕事展3」で見ることが出来る。

詳細は決まり次第、ジャグラホームページ等で配信する。

厚生労働大臣賞

ハガミさん

(株)クリエイト横浜
神奈川県支部



厚生労働省人材開発統括官賞

紙面連動GPSデジタルマップ

(有)高橋平版社/栃木県支部



全国中小企業団体中央会会長賞

和綴じ本復元

(株)文化ビジネスサービス/東京・港支部



(学法)日本プリンティングアカデミー賞

ドッグフード

「Cabmmy Dog ~キャブミドッグ」

(株)五六堂印刷/岩手県支部



(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞

日本橋なぞ解き

-明智少年事件簿-

(株)文化ビジネスサービス
東京・港支部



作品展審査会委員長賞

QC封入封緘

(株)ベスト・プリンティング/東京・港支部



佳作

生成AIを活用した自社CM (自費出版) 動画

(有)一粒社/愛知県支部



各部門の入賞作品一覧

地元賞

東京都知事賞
東京都産業労働局長賞

着物手帳2025
富士フィルム・フォトコレクションII世界の20世紀写真「人を撮る」

(株)アイト/東京・文京支部
望月印刷(株)/東京・城東支部

出版部門

経済産業大臣賞
経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞
全国中小企業団体中央会会長賞
(一社)日本印刷産業連合会会長賞
(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞
印刷時報(株)賞
(株)印刷出版研究所賞
作品展審査会委員長賞
特別賞
佳作

目で見える馬術
JiLL Wreath Book II~手作りリリース、季節の24レシピ~
ふるさと伊野部のあゆみ 補遺 人々のくらしと正福寺
ぜんまい屋の豆暦
あすなる小学校は今日もにぎやか
近江学 第15号
おなかのボタン
琵琶湖の魚類図鑑
写真集『世界をまとう』
志士たちの詩想

オリンピック印刷(株)/大阪府支部
(株)リーブル/高知県支部
サンライズ出版(株)/滋賀県支部
(株)山田写真製版所/石川県支部
中央印刷(株)/山形県支部
サンライズ出版(株)/滋賀県支部
(株)リーブル/高知県支部
サンライズ出版(株)/滋賀県支部
あさひ高速印刷(株)/大阪府支部
(株)ニシキコネクト/広島県支部

宣伝部門

経済産業大臣賞
経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞
全国中小企業団体中央会会長賞
(公社)日本印刷技術協会会長賞
(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞
作品展審査会委員長賞
佳作

ブラックライトカクテルメニュー2種 (①かんのん折り、②中綴じ)
レコード盤を再現したダイレクトメール
BOTEJYU GROUP 1946会社案内 日本語版・英語版
うどん帳
2025年太陽系カレンダー
2023年度研究室活動報告書 (ANNUAL REPORT)
三角形 会社案内

長瀬印刷(株)/福島県支部
(株)ガリバー/神奈川県支部
(株)文伸/東京・三多摩支部
(株)野毛印刷社/神奈川県支部
(有)エンドースクリーン/福島県支部
(株)遊文舎/大阪府支部
(株)文成社/東京・文京支部

業務用印刷部門

厚生労働大臣賞
厚生労働省人材開発統括官賞
全国中小企業団体中央会会長賞
日本印刷機材協議会会長賞
(公社)日本広報協会会長賞
(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞
印刷タイムス(株)賞
作品展審査会委員長賞
特別賞
佳作

年賀状が、へびをテーマにしたカードゲーム!? 顧客からの反響が大きく、商品として販売が決定!
カルタ Livewith Parkinson パーキンソン病と共に生きる
高知大学南浜寮100周年誌
新宿Azaleeプロジェクト&ゴジラコラボ (集印帖)
社会福祉法人 博光福祉会 社内報『ANONE vol.4』
広島大学75年史
ユニパルス株式会社「2024-2025センサ&計測機器総合カタログ」
日めくりカレンダー
山本明美教授退任記念誌
2025年(株)文伸の年賀状

(株)ガリバー/神奈川県支部
サンライズ出版(株)/滋賀県支部
(有)近森騰写堂/高知県支部
NS印刷製本(株)/東京・新宿支部
(株)イデアル/大阪府支部
(株)ニシキコネクト/広島県支部
情報印刷(株)/神奈川県支部
あさひ高速印刷(株)/大阪府支部
(株)あいわプリント/北海道支部
(株)文伸/東京・三多摩支部

開発・開拓部門

厚生労働大臣賞
厚生労働省人材開発統括官賞
全国中小企業団体中央会会長賞
(学法)日本プリンティングアカデミー賞
(一社)日本グラフィックサービス工業会会長賞
ニュープリンティング(株)賞
作品展審査会委員長賞
佳作

ハガミさん
紙面連動GPSデジタルマップ
和綴じ本復元
ドッグフード「Cabmmy Dog ~キャブミドッグ」
日本橋なぞ解き-明智少年事件簿-
カナミー金沢 (ローカルWEBメディア)
QC封入封緘
生成AIを活用した自社CM (自費出版) 動画

(株)クリエイト横浜/神奈川県支部
(有)高橋平版社/栃木県支部
(株)文化ビジネスサービス/東京・港支部
(株)五六堂印刷/岩手県支部
(株)文化ビジネスサービス/東京・港支部
(株)栄光プリント/石川県支部
(株)ベスト・プリンティング/東京・港支部
(有)一粒社/愛知県支部

開発・開拓部門

JaGra 認定 DTPオペレーター

ジャグラテスト

Adobe InDesign・Adobe Illustrator

「ジャグラテスト」は、課題をもとに制作されたDTPデータをスコア評価し、印刷物制作現場で即戦力として活躍できるDTPオペレーション技能を有する人物を認定するとともに、自身のオペレーション技能レベルを数値化することで今後強化すべきポイントを把握することができるテストです。課題データはインターネット経由で提出し、審査員による評価をスコア表でお返しします。

募集期間 **2025年6月2日(月)～8月31日(日)**

| | |
|----------|---|
| 募集方法 | 特設サイトよりご応募ください。 https://www.jagra-contest.com/jagratest/ |
| 受験資格 | 受験資格は特にありません。どなたでも受験することができます。 |
| テスト科目 | Adobe InDesign、Adobe Illustrator |
| 対象バージョン | Adobe InDesign 2024以上、Adobe Illustrator 2024以上 |
| 受験料[1科目] | 一般料金： 10,000円 JaGra会員： 8,000円 学生料金： 5,000円 ※お申し込み時に、団体受験・個人受験が選択できます。 |

課題制作ポイント解説セミナー開催！(申込受付：6/11～)

| | |
|-------------------|---|
| 右QRコードよりお申し込みください | 7月16日(水) 13:30-15:30 InDesign セミナー |
| | 7月23日(水) 13:30-15:30 Illustrator セミナー |
| セミナー受講料 | 一般・JaGra会員・学生 共通：当日視聴のみ： 1,000円 視聴+資料： 2,000円 |

ジャグラテスト 第4期 実施スケジュール



主催：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

協賛：アドビ株式会社 株式会社大塚商会 株式会社ショーワ 株式会社モリサワ

問い合わせ先 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 tel.03-3667-2271 e-mail: jagracontest@jagra.or.jp

ジャグラの機関誌『グラフィックサービス』では、7月号誌上において恒例の暑中名刺広告を実施します。なお、地協・支部よりの出稿につきましては、掲載料金が割引になりますので、ぜひご利用ください。

◎掲載料金

1コマ/縦組 60×42ミリ ¥ 8,000 (税込¥ 8,800) →支部・地協 ¥ 5,000 (税込¥ 5,500)
2コマ/横組 60×87ミリ ¥ 13,000 (税込¥14,300) →支部・地協 ¥ 10,000 (税込¥11,000)

◎申込方法 本紙に必要事項をご記入の上、下記宛ファックス (または郵送) してください。

標準パターン見本

代表取締役社長
日本太郎

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
ニッケイビル7階
TEL 03 (3667) 2271
FAX 03 (3661) 9006

グラフィックサービス(株)

代表取締役社長 **日本太郎**

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
TEL 03 (3667) 2271 FAX 03 (3661) 9006

「グラフィックサービス」暑中名刺広告申込書

申込日 2025年 月 日

| | | |
|------|--|--------|
| フリガナ | フリガナ | |
| 社名 | 担当者名 | |
| 住所 | 〒 | |
| Tel | Fax | E-mail |
| 体裁 | <input type="checkbox"/> 1コマ <input type="checkbox"/> 前年通り (既出稿者) ←修正のある場合は前回版下に赤字を入れ、貼付してください <input type="checkbox"/> 2コマ <input type="checkbox"/> 標準パターンでOK (新規出稿) ←新規申込みの場合は、下記枠内に原稿をご記入ください <input type="checkbox"/> 版下データ支給 (独自デザイン) ←本申込書とデータをメール添付にてお送りください | |

広告原稿はこちらにご記入ください

上記、標準パターンで申し込む場合は、右枠内に原稿をご記入ください。

連名、本店/支店、Web、ロゴ使用等、独自デザインをご希望の場合、完全版下データをご支給ください。(PDFデータをお願いします)

社名 _____

肩書き・氏名 _____

住所 〒 _____

TEL _____

FAX _____

【申込み先】 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 名刺広告係 (笠原)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 tel.03-3667-2271 fax.03-3661-9006

※版下データはメール添付にて k_kasahara@jagra.or.jp 宛お送りください

JFPIREPORT

ダイジェスト版

各タイトル横の番号ごとに、WEBページで詳細がご覧いただけます。右記のQRコードよりご確認ください。



下請適正取引の推進に向けた自主行動計画フォローアップ調査結果報告(2024年度) [1] - 価格転嫁率が上昇傾向に! -

日印産連では、「下請適正取引の推進に向けた自主行動計画」「自主行動計画の徹底プラン」を会員10団体と協議を重ね、2022年3月に策定しました。会員企業による適正取引の推進に取り組むとともに、印刷業に属さない発注側の業界に対しても、取引の適正化を働きかけています。

直近の2024年9月調査では、印刷業界は原材料費・エネルギー費・労務費のコストに対する転嫁率が前回3月調査の10位(転嫁率47.4%)から7位(転嫁率53.1%)に上昇しており、価格交渉に応じてもらえれば、価格転嫁が進むという傾向が見られました。

日印産連のHPには今回のフォローアップ調査のベースとなる
○「自主行動計画 改訂版 2024」[1-1]
○「自主行動計画の徹底プラン」[1-2]が掲載されています。

地方創生事業好事例紹介 じゃばにうむレビュー [2]

地域情報を発信する担い手として地域経済の活性化に貢献する地域ブランドオーガナイザー 石川印刷株式会社(石川県)

- 印刷事業から地域情報発信の担い手に
- 情報誌の制作からオンラインサイトで地域の特産物を販売
- ドローン空撮動画で新たな地域資源・観光資源を発見



オンラインストア「Fのさかな本舗」

情報誌「Fのさかな」



61号発刊しました

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。 [6]

印刷用語集
聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

「印刷って、何?」が、楽しくわかる
ふりんとびあ

印刷産業 Monthly Report
各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内
印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。



「第76回全国カレンダー展」「第66回全国カタログ展」合同表彰式が5年ぶりに開催 [3]

「第76回全国カレンダー展」ならびに「第66回全国カタログ展」合同表彰式が、2025年1月22日(水)に、日本印刷会館2階会議室において開催されました。2020年以降5年ぶりに「全国カレンダー展」と「全国カタログ展」の合同表彰式となりました。



全国カレンダー展 受賞者の皆さん



全国カタログ展 受賞者の皆さん

第76回全国カレンダー展のチャリティーカレンダー販売金を「あけみちゃん基金」に寄付 [4]

「第76回全国カレンダー展&第66回全国カタログ展」の合同展示会と合わせて実施されたチャリティーカレンダーの販売金10万1千円と日印産連からの寄付金を合わせた30万円を、国内外の心臓病の子供を救う「あけみちゃん基金」に寄付しました。



「第64回2025年ジャパンパッケージングコンペティション(JPC展)」入賞作品決定 [5]

今年で64回目となるジャパンパッケージングコンペティション(JPC)展の入賞作品が決定しました。審査会は2月14日(金)、東京都千代田区のTOPPAN神田和泉町ビルにおいて実施されました。入賞作品の詳細につきましては、日印産連のHPをご参照ください



経済産業大臣賞第1部門【日清食品株式会社】



経済産業大臣賞第2部門【味の素株式会社】

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOT NEWS

広報委員会
が選ぶ!

おすすめ番組情報

いまずぐチェック!

ジャグラBB | 🔍



カテゴリー > 教育と技術 > 営業向け

画像生成 AI Adobe Firefly を安全に使うための活用術と最新線
~画像生成 AI でクリエイティブをカタチに~
2024年12月7日にホルトホール大分にて開催されたセミナーの様子をジャグラBBでお届けいたします。



便利さだけでなく信頼できるツールを選ぶこともだいじにや。



study 活用して作業効率を高めましょう!

カテゴリー > 教育と技術 > DX・総務経理・その他



印刷業界トレンド解説シリーズ Vol.4
Adobe 製品の生成 AI 後編1部(3)
後編1部では、Adobe の DTP 関連ソフトの画面を通して各種機能の操作方法をご案内しています。今回は InDesign 編です。



BTube への映像データ募集中!

スマートフォンで簡単投稿!

投稿方法は
こちらから

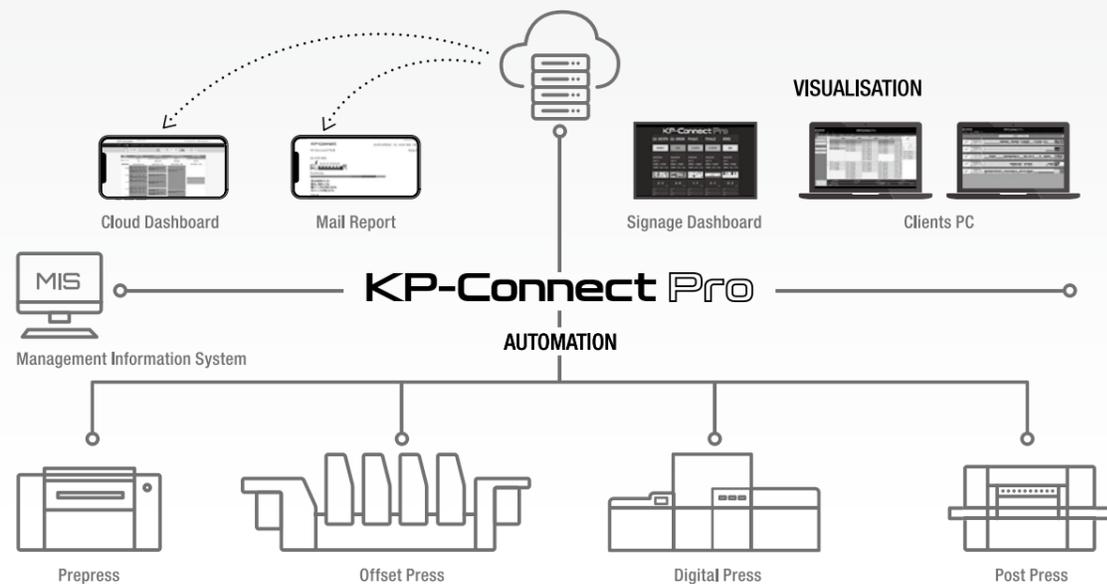


ジャグラBBは、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。



CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション
〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
www.komori.com

コネクテッド・オートメーション
についての詳細はこちら



<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>

Horizon Change the focus

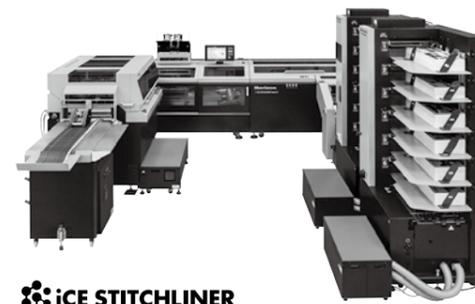
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機 iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI (ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機

iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストップの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機 iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



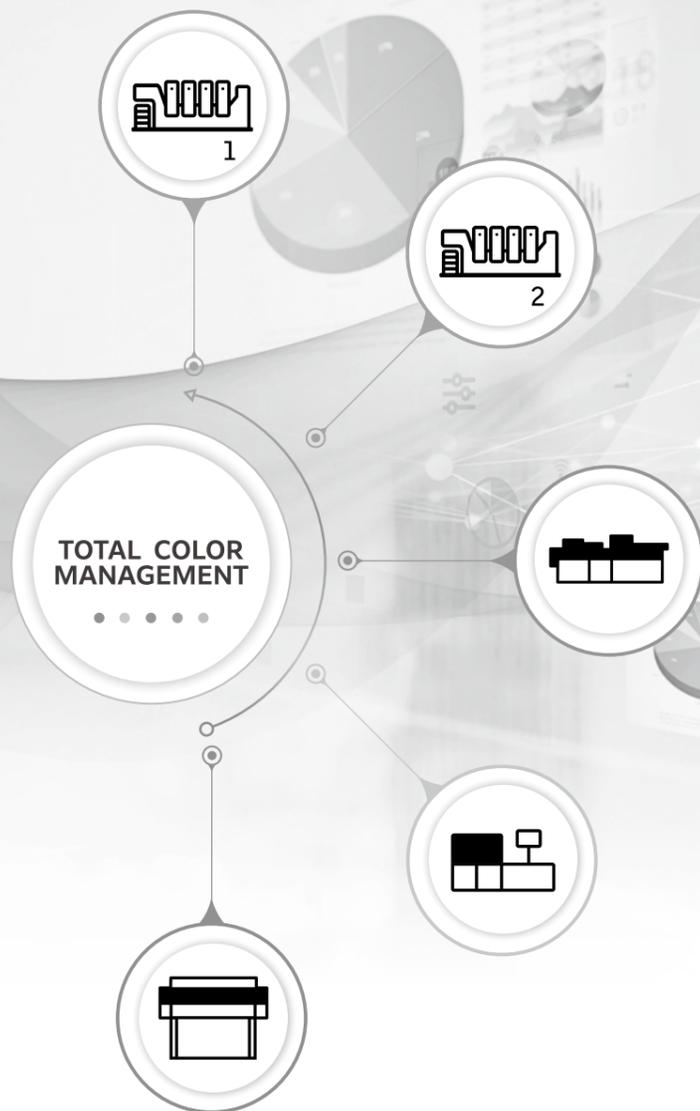
iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

FUJIFILM
Value from Innovation



「色」に関する課題を共に解決し、
生産効率の最大化を目指す
トータルソリューション。

総合カラーマネージメントソリューション

FFGS QC Navi

さまざまなジョブをつねに最適なコスト・時間で生産するには、
工程全体の品質の統一と安定化が必要です。
すなわち、「オフセット印刷・デジタル印刷の色品質が統一され、安定した状態」。
この理想的な生産環境の実現に向け、富士フィルムは、
長年にわたる印刷診断活動で得たデータや、独自の知見・ノウハウを活かし、
お客さまの生産設備に合わせた課題解決から、色品質の維持管理まで、
ワンストップでサポートいたします。

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

RICOH
imagine. change.

印刷業の未来を
共に創る



プリントコンパス 検索

リコージャパン株式会社
〒104-6033 中央区晴海1-8-10

インサツのこれからをかんがえる
Print Compass

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



雑学コラム③① 野口聡の

47都道府県のお話(その28:大阪府)

ジャブラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャブラ東京・東
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

今回は大阪府を取り上げようと思います。今回もよろしくお
願いします。

とはいえ大阪で何かを語る、と云うと何を言いたって読者の方
が大概知ってるみたいなことになるでしょう(笑) それでも
私の一方的なイメージで何かしら書いてみましょうかね。少し
の時間お付き合い頂けると幸いです。

1:みんなが知ってる日本一の「あの」建造物、以外にも実
は……。

唐突ですがここで問題です。
「大阪府堺市にある、日本最大級の古墳の名前は？」普通に
クイズ番組でも聞きそうな問題ですね。

もちろん正解は「大仙陵古墳(仁徳天皇陵とは今は言いま
せん)」ですね。世界三大墳墓の一つ(残りの2つはクフ王のピ
ラミッドと秦の始皇帝陵と云われる)とされ大概の日本人が教
科書で1回は見たことのある鍵型の前方後円墳ですね。とこ
ろで1番目があるなら2番目があるわけで、その2番目に面積が
大きい古墳も実は大阪府にあるのです。羽曳野市にある菅田御
廟山古墳(こんだごびょうやまこふん)がそれに当たります。

ところで先程書きましたが大仙陵古墳はかつて「仁徳天皇陵」
と呼ばれてましたが現在では名称が変わってます。その理由は

単純至極、調査によって祭られているお方が仁徳天皇では無い
可能性が高くなってきたそうで。そりゃ千年、二千年前の話で
すから今では特定出来ないのもごもっとも。で、2位の菅田山
古墳(こうも言う)の方も宮内庁の認定で第15代天皇の応神
天皇の墳墓とされています。因みに仁徳天皇は16代目の天皇
と認定されてますので2代連続のお墓が同じ地域に大規模で造
られた事になります。当時の天皇の権力が解る遺構ではないで
しょうか。

2:お鍋や立ち食いそばでお世話になるあの野菜、実は大阪
府が生産高1位なんだって。

冬の時期の食事で一番コミュニケーションを構築できそうな
野菜、関東の立ち食いそばのお店でよく見かけるあの野菜の天
ぷら…、そう大阪府が全国生産1位の野菜とは「春菊」です。
名前とは違い11月から2月が旬のこの野菜は大阪府では「泉
州きくな」のブランドで盛んに栽培されています。

大阪府が生産1位の理由としては、葉物は痛みが早い為消費
地に近いこの辺りでの栽培が盛んになった、という事みたいで
すね。

私なんぞは鍋に入れるか、春菊天にするかしか調理法を知ら
ないので、私にとっては苦みがあるもの、という認識しか無い
ので目が鱗が落ちるような、地元の方が知ってるような他の
おいしい食べ方をご教授頂きたいです。お願いします(笑)

今回はこの辺りで。今月もお付き合い頂きありがとうございました。
では今月の問題です。

問題:諸説ある中の1つとして江戸時代の建物に造られた延焼
を防ぐための防火壁と云う意味があり、現在では徳島県の一部
地域で観る事が出来る物で、これを造れない人は甲斐性が無い
という事から転じて現在では出世が出来ない、運が無い人を指
して云う慣用句として「これ」が上がらないと云う様になった
ものは何でしょう?

(正解は29ページ)

アプリって割と簡単に作れるのです!

**社内報アプリを
導入する企業続々!**

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中!
経営層からのメッセージや最新ニュー
スなどをリアルタイムで共有。
コメント機能やアンケート機能など、
デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の
迅速化

データ分析による
効果測定

閲覧率・
読了率の向上
&
エンゲージメント
UP

ちょっと覗いて
みてください↓

**地域活性化を促進する
デジタルスタンプラリー!**

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活
性化や集客促進に! スマホがあれば、いつも
どこでも簡単に参加できます。参加者数や運
成率などの効果測定もタイムリーにOK!

ちょっと覗いて
みてください↓

**オリジナルアプリ作成は
研美社にお任せを!**

導入事例
山形県産物振興会導入
新商品のご案内やEC
サイトへの短時間で
活用中!
「アプリ」導入
プロセスを知りたい
方は、こちらがおすすめ!

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口
プリントデスク ☎0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

株式会社 研美社

(東京営業所) 東京都中央区八丁堀 2-20-9 八丁堀 FRONT 1F

(大阪本社) 大阪市都島区片町 1-5-13 大手前センチュリービル B1F/5F

03-6228-3900

06-6351-1766

SPACE-21 広報部 Next-Oita について

Next-Oita 事務局 薬師寺 順平
(株)キュープリント大分



いつも Next-Oita の活動にお力添えをいただきありがとうございます。

今回の寄稿にあたり、あらためて Next-Oita の紹介をさせていただきます。

Next-Oita の前身「豊翔会」は、平成6年に当時の大分県支部の会員8名を中心に発足しました。「豊翔会」という名前の由来は、「豊かに翔ぶ」と「豊後(大分)」を掛けて、青年部(次世代)がやりたい事にチャレンジして

業界の未来を切り開いていきたいという意味を込めて付けられました。それから22年を経た平成28年に、それまでも年間行事を通して交流を続けていた全国印刷緑友会の大分県「若梅会」と統合し、Next-Oita が生まれました。統合の目的は、ともに活動し大分を盛り上げること、発足後、熊本大分大地震やコロナ禍を経験し、四苦八苦しながらではありますが現在第10期目になりました。

現在の会員数は旧豊翔会の会員が6社、旧若梅会の会員が4社、統合後に入会した会員が2社の計12社で、統合当初の会員数より減少しておりますが、ジャグラと緑友会のハイブリッドということで、会員は今まで経験していただかなかった機会が増え、活動内容は統合前より活発になってい

ると感じます。

コロナ禍においても可能な限り例会開催を心がけました。自粛期は Zoom で行い、リアル会議が可能であれば大きな会議室で密をさけ行いました。また、同期間(令和3年)には講師をお招きして、一年間で4回の間中セミナーを Zoom で行いました。

定例会は、毎月第三火曜日または水曜日に行っており、各会員の活動報告等の情報交換、セミナー内容の協議等を行っています。今まで定例会は大分市内で開催していましたが、会員の中には別府市内から出席しなければならない会員もいるので、昨年からは別府市内での開催も行っています。全ての会員が参加しやすいように今期も大分と別府を交互に開催するなど工夫していきたいと思っています。

また、定例会とは別に、花見会(4月)、通常総会(5月)、納涼会(7~8月)、中期セミナー(9月)、年末セミナー・忘年会(12月)、新年会(1月)等で交流を深めています。4月の花見会は、「ただ花見をして懇親会をするよりも」という会員の発案で「ウォーキング花見会」を昨年からは行っています。最初の花見ポイント「平和市民公園」(大分市)という桜のきれいな公園に集合し、各自で持参した飲み物やおつまみを片手に軽く花見をし、歩いて2つ目の花見ポイント「大分城址公園」まで約4km歩きます。

普段は車から流れるように見えてた景色、看板やお店をゆっくり見ると新たな気づきもあり、また道中の会話も弾み、より絆も深まります。花見・日ごろの運動不足解消・道中の発見で一石三鳥です。

2カ所で桜を満喫した後は居酒屋に移動し懇親会のスタートです。今年は桜も満開で天気にも恵まれ、絶好のウォーキング花見会でした。

7月の納涼会は、今年はキャンプ形式にしようという計画です。場所は別府市と大分市の山間部にある湖を囲ったキャンプ場「志高湖」です。とても人気のキャンプ場で、戦前は別府三勝のうちの一つとしても有名でした。スワンボートや手漕ぎボートが浮かび、白鳥が遊び鯉が泳ぐ湖のほとりにテントを張って小鳥のさえずりやそよ風の音を聞

きながらゆっくりする時間は、日頃の疲れやプレッシャーから身も心も解放させてくれます。大自然のエネルギーを感じ、業界の未来を語り合いながら、バーベキューを楽しみたいと思っています。全国からの飛び入り参加大歓迎なので、詳細は Next-Oita までお問い合わせください!

12月の最初の土曜日に行なっている年末セミナー・懇親会は、Next-Oita の前身、豊翔会からの恒例行事であり、毎年ありがたいことに全国から多くの方に参加していただいております。今年も12月6日の土曜日に大分市の J:COM ホルトホール大分での開催が決まりました。セミナーに向け会員一同、準備を進めています。皆さまのご参加をお待ちしております。

Next-Oita が発足して9期目が終わりました。9年間に廃業や景気の影響により残念ながら退会された会員もいて発足当初より会員数は減ってしまいましたが残ってい



る会員で毎月元気に活動しています。先月、第9回通常総会が開催され、長きにわたり会長を務めていただいた笠木信吾氏が勇退し、新会長に(株)クリエイツの佐藤愛子氏が満場一致で承認され、就任いたしました。第10期目の今期のテーマは「DX活用による業務効率化の推進、異業種交流による新たなビジネスモデルの創出、地域貢献活動を通じた業界イメージの向上を柱に会員のスキルアップとネットワークの強化を図り、地域に必要とされる団体として業界を盛り上げよう」です。佐藤新会長を中心に大分から盛り上げられたらと思います。

最後になりますが、年末のご多用の中、セミナーにご参加いただいている方、ありがとうございます。来ていただける事を当たり前と思わず、皆さんと一緒により良い学びができるように会員一同精進してまいりますので、今後とも Next-Oita をよろしくお願い致します。

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

- ◆ 割安な価格で充実の福利厚生
(例: 30歳男性、1口327円/月)
- ◆ 70歳まで加入可能
- ◆ 死亡以外に事故による入院も保障
- ◆ 医師の診査不要、告知のみで申込



「今宵のサステイナ酒場」

「店主のつぶやき」



杉本店長

夜のとほりが静かに降りる頃、酒場の灯りがぼつりぼつりと灯り始める。扉の向こうには、古びた木のカウンターと、時の流れに身を委ねるような柔らかな音楽が響き渡っている。ここはただの酒場ではないようだ——サステイナブル（持続可能）な未来を願う者たちが、グラスを傾けながら思索を巡らせる場所なのだという。

「フロク」としての印刷受注

～地域活性の中から気づいた新規開拓～

今宵の肴（ゲスト）：

株式会社興栄社 代表取締役社長 菅野 潔 氏

店主：

「よおし、今夜のサステイナ酒場も盛り上がりすぎてきたな！ お客さんそれぞれ地域の特産品や飲み物を片手に、どんな話が飛び出すのか乞うご期待。神津島の話をしてくれるというゲストの菅野さん、もうできあがっているみたいだが大丈夫か？ 眠っちゃう前に、ひとまず話を聞いてみよう……」

菅野さん：「実はさあ、神津島は最初ただの仕事って感じだったんだよ。でも、島の自然があまりに良くてさあ、こりゃ活かさなきゃもったいないねえって思ったんだよな」

常連客A：「島の自然って、そんなにすごいの？」

菅野さん：「そりゃもう素晴らしいよ！ だけどさ、島の人たちって最初は外の人間に警戒するんだよ。まあ、仕方ないよな。けど、こっちは諦めるわけにいかなくてさ、ずーっとコツコツ続けてたら、なんだかんだで信頼関係築けたんだよ」

常連客B：「さすが、菅野さん。やっぱり地道な努力が大事だねえ」

菅野さん：「それで桑の木に目をつけて、和紙作ったり、グラノーラ考えたり、まあいろいろやったんだけど、そりゃ失敗も山ほどあったよ。でもな、印刷の仕事が土台としてあったおかげで、多少は冒険できる余裕があったんだ」

常連客A：「なるほど。しっかりした基盤があると挑戦しやすいよね」

菅野さん：「最初は儲けなんて考えずに、とりあえず気持ちでやってたんだよ。それが気づいたら仕事が増えて、社員旅行でみんな島に連れてったことも

常連客B：「LEDパネルって、どんな活用方法が考えられるの？」

菅野さん：「例えば、地域の情報発信にも使えるし、観光客向けの案内板としても面白いよな。技術をつまぐ活用すれば、もっと地域に貢献できると思うてるよ」

常連客A：「それ、すごく面白そう！ 実際にどんな風に活用するのか見てみたい」

菅野さん：「ぜひ見てほしいな！ 島の魅力をもっと伝えるために、新しいことにどんどん挑戦していきたいね」

常連客B：「いいねー、じゃあ菅野さんの今後さらなる挑戦に乾杯しようじゃないのー」

全員：「乾杯ー」

.....

店主：「本当に熱い話が飛び交ったな！ 地域に根付いた活動が、ただのビジネス以上の価値を生むことを改めて感じたよ。挑戦を続けることこそ、持続可能な未来につながるんだな。さて、次はどんな話が聞けるか楽しみだ。またのご来店、お待ちしておりますよー」



あるんだぜ。もう20年以上やってるけど、まだまだ新しいこと見つけたんだよな。人生楽しんでなんぼとはよく言ったもんだ」

常連客B：「やっぱり好きなことに情熱持って取り組むってのが一番だねえ」

菅野さん：「神津島での仕事を通して、本当にいろんなことを学んだよ。最初はただの仕事って感じだったけど、島の活動に関わっていくうちに、自分の考え方もずいぶん変わってきたんだ」

常連客A：「具体的にどんな変化があったの？」

菅野さん：「そうだなあ……最初はとにかくビジネスとして成り立つかどうかわかり考えてた。でも島の人たちと話すうちに、地域に根付くことの大切さを実感したんだよ。それが仕事の進め方にも影響して、地元と一緒に成長するっていう意識を持つようになったな」

常連客B：「地域との関わりが深まると、仕事への向き合い方も変わるんだ」

菅野さん：「そうなんだよ。それから、生物や食品の販売って、色々なリスクもあるんだよな。品質管理とか、流通の課題とか。でも、それをしっかり考えて対策を立てることで、成功の可能性も広がるんだ」

常連客A：「なるほど。しっかりと計画を立てることが大事なんだね」

菅野さん：「そうそう。そして最近LEDパネルの活用についても興味を持ってね。照明や広告だけじゃなく、もっと面白い使い方ができるんじゃないかな」

※この記事は4月22日に開催したZOOM懇話会をもとに店主が多少脚色したものです。

同業社コミュニティの形成と印刷産業発展の可能性について

- インタビュー分析による他己紹介をワークショップの契機として -

#中小企業支援 #企業連携 #価値創造 #デザインリサーチ #コミュニティ形成 #共創

23105 璃月ゆあ (岡本悠里) 論文のみ

本研究に至る動機

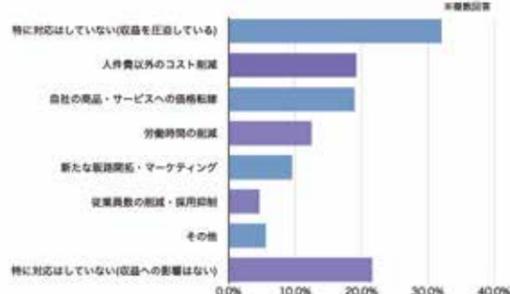
昨今のデジタル化の進展に伴い、紙は急速に姿を消している。この流れの中で、衰退の道を歩み出した産業の一つとして印刷産業がある。また、日本における大企業と中小企業の格差は年々拡大しており、日本経済の二重構造として社会問題化している。筆者は曽祖父の代(1947)から印刷業を営む家系で育ってきており、印刷が身近にあった。筆者が複数の印刷会社と協力して作成した紙書籍が高く評価されたことを契機に、複数の印刷会社が協力することに、印刷産業が衰退の道を抜け出す可能性があるのではないかと考え、本研究を実施することに至った。

中小企業における印刷産業の置かれる現状

資本金が小さい中小企業でも物価高に対応した給与が年々増加傾向にあるものの、資本金の大きい大企業と比べれば顕著に上昇度合いは小さい。業績の改善が見られないにも関わらず賃上げを実施する中小企業も多く、理由として、「人材の確保・採用」、「物価上昇への対応」を理由に挙げている企業が大半を占めている。資金の確保先として、特に対応していない、すなわち収益を圧迫していると回答した企業が最も多く、次いで人件費以外のコスト削減となっている(下図)。人材採用強化や定着率向上のために賃上げの必要性を迫られる状況にありながら、その原資確保に苦慮している企業が多く存在している。

また、コストに対する十分な価格転嫁ができていないとはいえないことも大きな問題である。

最低賃金の引上げを受けて、賃上げの原資確保のために行った対応



株式会社データバンク「中小企業が直面する外部環境の変化に関する調査」

また、印刷・同関連業(印刷産業)の事業所数、従業員数、製品出荷額は1990年代をピークに2000年代からいづれも顕著に減少している。特に出荷額において2021年はピークの5/9にまで落ち込んでいる。

本研究における目的とねらい

本研究は、中小企業における印刷会社が直面する課題を明らかにし、同業他社間のコミュニティ形成と協働を通じて、新たな価値を創出する可能性を探ることを目的とする。企業同士の連携という視点から、新たな製品やサービスの可能性を検討する。これを踏まえ、複数の企業が仮に共同で事業を行うと仮定した場合にどのような可能性や課題があるのかを示すことが狙いである。

璃月ゆあ

2000年愛知県生まれ。京都産業大学情報理工学部卒。大学にてソフトウェア工学やプログラミング言語学などを学んだ後、IAMASへ、情報工学だけではなく様々な活動に取り組む。代表作「月の声を聴くための言葉」(2022)



インタビューによる調査

検証を行うために、インタビュー調査とワークショップの実施という手段を用いた。インタビュー調査では、複数の企業に対してデザインリサーチに基づく半構造化インタビューを実施した。印刷業を営む中小企業の、経営に携わる人を対象として実施した。スタートアップなどの段階ではなく、ある程度の歴史があり、基盤となる事業が存在する程度の安定性がある段階であり、現在の代が創業者ではなく、2代目または3代目といったある程度の時代の変化を経験している企業を対象とした。

取り扱うサービスや製品、技術、工程などが多様になるように4社(鬼頭印刷株式会社様、大洞印刷株式会社様、株式会社ニシキプリント、あさひ高速印刷株式会社様※いづれも以下敬称略)を選出した。インタビューにより明らかになった各社の課題と特徴は以下の表の通りである。

| | 鬼頭印刷 | 大洞印刷 | ニシキプリント | あさひ高速印刷 |
|-----------------|--|---|--|---|
| 業界に対する課題 | ・数字での管理が苦手とする経営者が多い ・従来の受け身型の営業スタイルを愛されていない ・コストパフォーマンスの向上に取り組みしていない | ・大手からの圧力に負けて価格を下げざるを得ない ・価格交渉を安心して行えないこと | ・印刷物を早く安く作ることで売れは通用しなくなっている ・印刷物の価値をどこに見出すか各社で考えなければならない ・生産労働人口が右肩下がりの中で労働力を確保しなければならない | ・結果的な集客手段がない ・生き残るにはコンテンツ制作か言明的な加工か、の2つの道しかない ・法人依頼と比べ個人からの依頼は大きな収益になりにくい |
| 自社に対する課題 | ・大量生産といったシステムの構築が資本力の問題によりできない ・効果的な広報の手段が分からない ・印刷物のデザインを1から作ることができない | ・都会と比べて好条件で求人を出せず人材を確保しにくいこと ・ITを活用することによって人員を削減できるようにすること | ・後継者を支える人材を育成できていない ・大学との取り組みを収益化できない ・エンカール消費のメリットを広める | ・本音にやりたいことがわからず、それを会社の方針にできない ・大量注文が来たときに社内一貫生産ができない |

| | 鬼頭印刷 | 大洞印刷 | ニシキプリント | あさひ高速印刷 |
|-------------------|---------------|------------------|---------------------|-----------------|
| 特徴 | 完全オーダーメイドの印刷 | ネットからのワンクリック注文 | 社内一貫生産 | 支店施設を内包した層が広い雇用 |
| デザイン | × | × | × | ○(同グループ) |
| 可変印刷 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 製本 | × | ○ | ○ | ○ |
| 特殊製本 | × | × | × | ○ |
| Web作成 | × | × | × | ○ |
| 特色印刷 | ○ | × | × | × |
| グッズ制作 | × | ○ | ○ | × |
| 実験への積極的な取組 | ○ | × | × | ○ |
| 価格競争への回避に対する取組 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 大規模な事業転換の経験 | | ○ | | |
| 紙、または印刷物に見出す価値 | 信用の高い情報、美術品 | 自分だけのオリジナル | 就業支援となる作業、雇用による社会貢献 | デジタル商品との差別化、所有感 |
| 最も課題だと考えていること | 広報 | 雇用 | 人材育成 | 方針 |
| 最も課題だと考えていることへの取組 | - | パートに対するスキルに応じた賃金 | - | 他社の事例収集 |
| 業界の課題 | 計算をしない、受け身の営業 | 価格競争に陥りがち | 価値の見出し方 | 広報、集客 |
| 印刷の現在に対する感情 | ネガティブ | ニュートラル | ポジティブ | ニュートラル |
| 印刷の未来に対する感情 | ネガティブ | ポジティブ | ポジティブ | ポジティブ |

ワークショップによるコミュニティ形成の試み

先の調査から、互いに協力し合うコミュニティの存在は、本研究の目的において、有効な手段であると考えた。具体的に実現する手法として、コミュニティを構築しながら、新たな付加価値に関するアイデアの議論と実現の場としてのワークショップを考案した。

先の調査においてのインタビューから各社一名ずつを参加者とした。ワークショップにおける議題は、インタビュー調査を元に「印刷物が作られる過程を可視化する文化を創る」とした。

ワークショップ実施前に事前アンケートを実施し、協働に対する経験や課題、考え等についての調査を行った。協働に対する考えや経験は様々であり、参加者同士の関係性も多様であることが分かった。

ワークショップは全4回を実施し、以下の図のフローと日程で実施した。



第1回ワークショップ

第1回では、インタビュー調査をもとにした他己紹介を筆者が行い、この他己紹介を元に、参加者同士で質問と交流を行った。最後に議題である「印刷物が作られる過程を可視化する文化を創る」を提示し、次回までの課題とまとめを行った。また、終了後に各自でアンケートフォームを用いた振り返りを行った。これを各回で行うことにより、参加者の様子や考えなどの把握も行うことができるため、次回の構成の参考にした。

第1回では、自社についての再理解と他社への理解が進み、他社の取り組みに興味を持っている様子が見られた。

第2回ワークショップ

第2回では、議題に対するアイデアや考えを共有し、これを通して他者がどのような考えを持っているのかについての理解を進めた。

第2回では、多様な視点から様々な意見が飛び交い、アイデアが発散し、議論がまとまりを欠く場面も見られた。また、参加者ごとの問題へのアプローチ方法の違いが浮き彫りとなった。一方で、疑問点を積極的に質問するなど、参加者が活発に議論に関与する姿勢も見られた。

| 会社名 | 意見 |
|---------|---|
| 鬼頭印刷 | ・印刷は印刷会社に頼まなくなっていく。おまけで印刷の仕事ももらうという形になっていくのではないかと。 ・購入者が作る過程に参加してもらうことが有効なのは、実際に作りながら、みんなで見せ合せて考えてみたい。試作品を集めておくような仕組みが欲しい。 ・自分たちがワクワクするようなものを届けたい。 ・あるものに対してニッチな層に対するサービスを提供したい。 ・購入者が手をかける、自分だけの物に対する価値は高い。印刷だけでなくサービス自体を提供する。 ・先に市場やペルソナを考えたい。 ・なんでも詰め込めばいいというものでもない。 ・地域の課題を解決するパートナーになる。手間暇かかるがそれなりに対価がもらえるようなこと。 ・地域に印刷会社は結構沢山あって密集しているから、印刷会社だからこそ見えてくるものがある。 |
| 大洞印刷 | ・先に市場やペルソナを考えたい。 ・なんでも詰め込めばいいという考えに賛成する一方で、今回のような場合は、市場やペルソナは出来上がった後に考え、心を込めたプロダクトアートに全振りしたほうがいいものができるのでは。 |
| ニシキプリント | ・絵にNoをつけて数量限定にすることで価値を高める。 ・障がいの手作業で立体物ができる可能性がある。 ・発注した印刷物の動画を提供すると喜ぶ顧客がいるのでは。 ・動画をおまけとして有料か無料で提供し、自由にSNSで公開する道具としても使えるのでは。顧客と顧客間関係が構築できるかも。 ・なんでも詰め込めばいいという考えに賛成する一方で、今回のような場合は、市場やペルソナは出来上がった後に考え、心を込めたプロダクトアートに全振りしたほうがいいものができるのでは。 |
| あさひ高速印刷 | ・印刷は印刷会社に頼まなくなっていく。おまけで印刷の仕事ももらうという形になっていくのではないかと。 ・購入者が作る過程に参加してもらうことが有効なのは、実際に作りながら、みんなで見せ合せて考えてみたい。試作品を集めておくような仕組みが欲しい。 ・自分たちがワクワクするようなものを届けたい。 ・あるものに対してニッチな層に対するサービスを提供したい。 ・購入者が手をかける、自分だけの物に対する価値は高い。印刷だけでなくサービス自体を提供する。 ・先に市場やペルソナを考えたい。 ・なんでも詰め込めばいいという考えに賛成する一方で、今回のような場合は、市場やペルソナは出来上がった後に考え、心を込めたプロダクトアートに全振りしたほうがいいものができるのでは。 |

第3回ワークショップ

第3回では、オンサイトでの開催を希望する声が高まったことから、第4回をオンサイトで実施することに変更し、第4回の構成を参加者が考えた。

第3回では、1人が自社について話し始めると、それに呼応するように他の参加者も次々と自社について話し始める様子が見られた。自身の考え・気持ちを開示することに重点が置かれていた。また、戦略やノウハウなどの「情報」に対する関心が高いことも明らかとなった。

| 会社名 | 意見 |
|---------|--|
| 鬼頭印刷 | ・印刷物を作る時、印刷会社の人間をデザイナーチームに入ればもっといい物が作れる。 ・知っていることが興業につながることもある。技術だけでなくノウハウの共有もして欲しい。特に売り方が分からない。 ・ほとんど高すぎるという理由で契約に至らないが、自社で作っているようなものは価格を下げてほしいのか分からない。 ・今回のようなスピードで新規事業を立ち上げようとしたことはないが、積極的に失敗も込みで挑戦したい。 ・もっと他社の考えを食って知った上で一緒にやっていきたい。 ・個人の小さい団体ターゲットを絞った市場が伸びている。 ・価格競争をしないために、売る仕組みも考えていく必要がある。 ・現状では自社と他社で解像度が違うので、今後各社を回りたい。 ・ものは作れるが売り方が分からないのは他社でもかなりある話。 ・地域の埋もれている商品の広報を手伝うサービスをやっている。手応えはあるので、この方法は有効なのではないか。 ・顧客からもらったデータではなく自分たちで販をつかっていけたら。 ・自分の会社について、こんなことができると思っていては、こんなことはできないをよくわかっていてということ。 |
| 大洞印刷 | ・現状では自社と他社で解像度が違うので、今後各社を回りたい。 ・ものは作れるが売り方が分からないのは他社でもかなりある話。 ・地域の埋もれている商品の広報を手伝うサービスをやっている。手応えはあるので、この方法は有効なのではないか。 ・顧客からもらったデータではなく自分たちで販をつかっていけたら。 ・自分の会社について、こんなことができると思っていては、こんなことはできないをよくわかっていてということ。 |
| ニシキプリント | ・顧客からもらったデータではなく自分たちで販をつかっていけたら。 ・自分の会社について、こんなことができると思っていては、こんなことはできないをよくわかっていてということ。 |
| あさひ高速印刷 | ・顧客からもらったデータではなく自分たちで販をつかっていけたら。 ・自分の会社について、こんなことができると思っていては、こんなことはできないをよくわかっていてということ。 |

第4回ワークショップ

第4回では、アイデアの結合と最終案の形成を行った。特に印刷技術に力を入れている鬼頭印刷の会社見学も行った。最後には全体を通したインタビューを行った。

第4回では、技術的試行錯誤に対する共感と、それに対する触発が見られた。さらに、他者のアイデアに自分の発想を加える場面や、別の視点から新たな考えを提案する場面もあり、参加者が議論に熱中し、笑いが生まれるなど、明るく前向きな雰囲気の中で議論が展開された。

| 会社名 | 意見 |
|---------|--|
| 鬼頭印刷 | ・現在の手作業の仕事で、障がいの支援の作業も連携できるのでは。 ・オフセットとデジタルの融合実験を、デジタル印刷機の最新機を持っていくところと協力してやっていく。 ・アクリルスタンドを使って3D表現ができれば表現の幅が広がる。 ・印刷の工程は、徐々に出来上がっていくので見ていて自分がいい。 ・社員が精神的に病んでしまった場合、会社としては切れないのはもどかしさがある。そういう人の居場所ができたらいいなと思う。 ・折紙に入っている1枚の金のように、端材の中に数枚落しをいれる。 |
| 大洞印刷 | ・印刷はこつこつやる丁寧な手作業が多く、就労支援として適切 ・オフセットとデジタルの融合が進んでいけば、今までできなかったような作業を障がい者ができるようになる可能性がある。 ・QRコードは低コストで、ターゲットを絞ることもなく売り出せる。 ・新紙や製本は表紙が見えるので、動画にするのに適している工程。 ・本音は、印刷は多量の工程があるのになら一般的には知られていない。顔色ができるだけでもすごく価値がある。 ・新紙は後の端材を製本したり、メモ帳にしたりする。 ・見本帳を商品としたら、使う人が技術の使い道を考える形に変わる。 |
| ニシキプリント | ・印刷はこつこつやる丁寧な手作業が多く、就労支援として適切 ・オフセットとデジタルの融合が進んでいけば、今までできなかったような作業を障がい者ができるようになる可能性がある。 ・QRコードは低コストで、ターゲットを絞ることもなく売り出せる。 ・新紙や製本は表紙が見えるので、動画にするのに適している工程。 ・本音は、印刷は多量の工程があるのになら一般的には知られていない。顔色ができるだけでもすごく価値がある。 ・新紙は後の端材を製本したり、メモ帳にしたりする。 ・見本帳を商品としたら、使う人が技術の使い道を考える形に変わる。 |
| あさひ高速印刷 | ・印刷はこつこつやる丁寧な手作業が多く、就労支援として適切 ・オフセットとデジタルの融合が進んでいけば、今までできなかったような作業を障がい者ができるようになる可能性がある。 ・QRコードは低コストで、ターゲットを絞ることもなく売り出せる。 ・新紙や製本は表紙が見えるので、動画にするのに適している工程。 ・本音は、印刷は多量の工程があるのになら一般的には知られていない。顔色ができるだけでもすごく価値がある。 ・新紙は後の端材を製本したり、メモ帳にしたりする。 ・見本帳を商品としたら、使う人が技術の使い道を考える形に変わる。 |

最終案

| | |
|-----------------|--|
| 大目標 | 鬼頭印刷の技術を活かした文化的アプローチの構築 |
| ファーストステップ | SNSを共同で運営する。印刷過程、特殊造形の様子の動画を投稿することで幅広い消費者に技術を知ってもらう。 |
| ファーストステップで目指すこと | 動く見本帳をイメージした動画を投稿することで、使う人が使い道を考えてもらう。4社の窓口となる場所を用意し、動画をみて気になった消費者がアクセスする。同時にSNS上でマーケティングを行うことで、ニーズ調査を実施する。 |
| 生産体制 | 特殊な印刷の工程は鬼頭印刷で行い、デジタル印刷機で可能な部分は生産体制を整えている大洞印刷で、製本はあさひ高速印刷で行う。顧客といった内職的な作業はニシキプリントにて作業所の仕事に。 |
| 今後の展望 | オフセットとデジタルの融合テストを行いつつ、今後は技術の進歩によりデジタル印刷機でできなかったことができるようになることが見込まれるので、移行できれば、障がいの者でもオペレーションが可能になるなど、更に鬼頭印刷の負担を減らすことができるだろう。 |

ワークショップにおける参加者の変化とまとめ

本研究の成果の一つとして、参加者間でコミュニティを形成することに成功し、その後、参加者自身による自主的な活動へと進展した。初期段階では、参加者のモチベーションにはばらつきがあった。しかし、議論が進むにつれて自主的かつ積極的に参加する様子が見られた。議論が表面的な話題からより深い問題意識へと変化し、与えられた議題が「他人事」から「自分事」へと変わる様子が見られ、共同体とも呼べる仲間意識が生まれた。企業が単独で課題を解消するのではなく、協働による解決を目指すことの有効性が示された。

新たな印刷産業の未来に向けて

経営者は自社について過小評価する傾向にあったが、他者の介入により、新しく価値が見出される瞬間が何度もあった。本研究からも示されたように、価値を見出すために外部の協力を仰ぐことは重要である。しかし、肝心の「価値」は外部ではなく内部、即ち社内に眠っているのである。本研究を通して、従業員を加えた価値創造を行う経営の場の形成や、外部の視点や助言といった助けを得ながら内部に眠る価値を見出していく作業が、今後の印刷産業において必要な取り組みになると筆者は考える。

業界の動き

業界関連

ソリューションフェアを開催 印刷工場の最適化を提案

ホリゾン・ジャパン

ホリゾン・ジャパンは5月14日から16日までの3日間、東京都千代田区の科学技術館で「ホリゾン・スマートソリューションフェア 2025in 東京」を開催しました。

会場では同社折り機とハママツ圧着機のインライン化や新製品の中綴じ折り製本機 iCE STITCHER SPF-2000 などを出展。実演では、富士フィルムビジネスイノベーションのデジタル印刷機 Revoria Press PC1120 で出力された用意をシートカット&クリーサー SMSL-100 でカットし、紙折り機 AF-406F/S で折り、インラインでハママツ社の圧着機 HP-L で圧着して横型プレススタッカー PST-44 でスタックするまでの流れを披露しました。

このほか、富士機械の断裁検査装置 BCC-1 が参考出品され、カメラによる濃度検知で雑誌等の折れや破れの検査を実演しました。

会期中3日間、毎日セミナーを企画。最終日には、「ホームページ×生成 AI で検索エンジン最適化！ 印刷・製本業様のための“自動集客”入門」をテーマに、ディテイルクラウドクリエイティブの名取雄介副社長が SEO 対策のコツを紹介しました。



ホリゾン・スマートソリューションフェア会場

業界関連

大阪・関西万博でガリ版体験 エジソンの手紙や水口さんの作品も

滋賀県

10月13日まで、大阪市此花区で開催されている2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の関西パビリオン「多目的エリア」で6月24日から29日、8月27日から9月1日ま

での2週間、滋賀の魅力を発信する滋賀魅力体験ウィークイベントが開催されます。

6月24日から29日の週では、ガリ版伝承館を運営する蒲生地区まちづくり協議会が出展し、ガリ版の魅力を伝えます。ガリ版を日本に広めた堀井新治郎氏は1893年開催のシカゴ万博でエジソンのミメオグラフに出会い、そこからガリ版機が誕生しました。今回、132年振りに万博でガリ版が復活することになります。

期間中は、ガリ版の歴史を伝える貴重な資料や堀井氏とエジソンとの交流を遺す手紙から、ガリ版トラベラーの水口菜津子さんの作品が展示されます。

行政関連

7月から全国安全週間スタート 労働災害防止活動を推進

厚労省

厚生労働省は、産業界の自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、毎年、全国安全週間を主唱しています。

今年も「令和7年度全国安全週間実施要綱」に基づき、7月1日から7月7日までを安全週間、6月1日から6月30日までを準備期間として、「多様な仲間と築く安全 未来の職場」をスローガンに、全国一斉に積極的な活動呼び掛けしています。事業者の皆様におかれましては、実施要項ご確認のうえ、取り組みをお願いします。

■ 令和7年度全国安全週間実施要項

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_57195.html

行政関連

第20回ものづくり補助金の公募を開始 締切は7月25日

中小企業庁

中小企業庁は4月25日、第20回ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の公募を開始しました。同補助金は中小企業等が行う、生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を行う事業のために必要な設備投資等の取組を支援するものです。

製品・サービス高付加価値化枠では、革新的な新製品・新サー

業界の動き

ビス開発の取り組みに必要な設備・システム投資を支援します。補助率は中小企業が1/2、小規模企業・小規模事業者及び再生事業者が2/3です。補助上限額は従業員5人以下が750万円、6～20人が1,000万円、21～50人が1,500万円、51人以上が2,500万円以下で下限額は100万円となります。

詳細はものづくり補助金総合サイト (<https://portal.monodukuri-hojo.jp/about.html>) を確認ください。

7月1日17時から申請を受付、同月25日17時締切となります。

ジャグラ

オンラインセミナー

「InDesign 文字組版の基礎」を開催

モリサワ×ジャグラ

ジャグラショートカット運営委員会は、賛助会員の(株)モリサワ様ご協力のもと、InDesign で文字組版を行う場合に必要各種設定などを学ぶセミナー「モリサワ×ジャグラ InDesign 文字組版の基礎」を4月16日（水）13:30～16:30にオンラインで開催し、全国から64名のジャグラ正会員の方にお申し込みいただきました。

当日は、ジャグラショートカット運営委員会の武川優委員長（東京三多摩）の開会挨拶からスタートし、本編では(株)モリサワの高松玲奈講師による事前録画された解説動画を配信。受講後に復習していただけるよう、講義用スライドとサンプルデータをダウンロード可能とし、2週間にわたりセミナー動画のアーカイブ配信を行いました。

受講者アンケートには33件の回答があり、「今後業務に役立てることができそう」「よくまとまっていて聞きやすかった」など高評価をいただきました。

今後もジャグラショートカット運営委員会では、会員向けにオンラインで受講できるセミナーを企画してまいります。

ジャグラ

マーケティングオートメーション (MA) を テーマにウェビナー開催

業態進化委員会

業態進化委員会は4月24日、マーケティングオートメーション (MA) をテーマにした業態進化セミナーをオンラインで開催し、40名が参加しました。

冒頭、中村委員長は、「グラフィックサービスの事業領域が拡大する中で、営業活動にMAが不可欠であるにもかかわらず、ジャグラ会員の認知度がまだ低いことから今回のセミナーを企画した」と開催の目的を説明しました。

講師には、株式会社クイックスより、MAを担当する山下氏と全並氏が登壇。セミナーでは、MAの基礎知識や関連用語の解説に加え、Salesforce Account Engagement、HubSpot、SATORI、Kairos 3、List Finder、BowNowといった主要MAツールの特徴が紹介されました。

また、クイックスの運用事例を紹介し、Web広告や展示会で獲得した顧客情報を活用し、顧客の動きから思考段階を分析して興味の度合いを数値化し、メール・電話によるアプローチを通じて商談・契約に結び付ける過程が説明されました。

さらに、コンテンツマーケティングについて「市場でのマーケティングや販売促進活動では、自社からの情報発信が差別化につながるため、Webサイトのコンテンツ制作に注力すべき」との提言がありました。

最後の質疑応答では、「MA運用に必要な人員」「ツールの価格や選び方」「運用の課題や必要なスキル」など、多岐にわたる質問が寄せられ、参加者のMAへの関心の高さがうかがえました。

ジャグラ

第9回通常総会を開催

Next-Oita

5月2日（金）18時より、Next-Oitaの第9回通常総会が開催されました。今年は役員改選の年で、長きに渡り会長を務めていただいた笠木信吾氏が勇退され、新会長に佐藤愛子氏が満場一致で就任しました。今期は会員数が2社減少しています。佐藤新会長を中心に大分を盛り上げ、会員増強につなげられたらと思います。その他事業報告、決算報告、監査報告などすべての議案が可決し、滞りなく総会を終えることができました。

総会後は場所を移し懇親会を行いました。今回は囲炉裏料理のお店で、鮎の串焼きや海老、牛肉、しいたけなどを囲炉裏に刺して自身で焼いて食べるという楽しいひと時を過ごしました。



ジャグラ

FACE 第16期総会 報告
FACE

日時：2025年4月10日(木) 18:00

場所：ニッケイビル 8階 会議室

参加人数：54名

【ご来賓(順不同)】

- 日本グラフィックサービス工業会青年部 SPACE-21 代表幹事 小澤孝一郎様
- 東京都中小企業団体青年部協議会 会長 木村 洋平様
- 印刷産業青年連絡協議会 会長 吉田 智博様
- 東京青年印刷人協議会 議長 小河原大輔様
- 東京青年印刷人協議会 副議長 飯島 康弘様
- 東京製本二世連合会 会長 宮崎 浩様

FACE 定例会が例年通り4月10日(木)に開催されました。まずは会長より、1年間を振り返ってのご挨拶からスタート。

【西谷会長 挨拶】

この1年、正直まだまだ未熟なところも多かったなと思っています。

でも、そんな中で執行部の皆さん、そしてFACEメンバーの皆さんに支えていただいて、なんとかここまで

やってこれました。本当に感謝しています。

去年は、“横のつながり”を大切にしながら、楽しくて、可能性が広がる会にしていきたいと思って走ってきました。

今年はそこにもう一つ『成長』のキーワードも加えて、“楽しく、成長できて、可能性の広がる会”を目指していきたいなと思っています。

青年部とは何か？とたまに聞かれます。

それは参加者が成長する場であると私は考えています。

ではどうやって成長するのか？

「仲間と切磋琢磨して成長する」「活発に活動することで成長する」「何事にも積極的に参加する」

これらは普段の業務にプラスして行くと負荷がかかるかと思いますが、仲間との絆は強くなり一歩進んだ仕事の仲間になっ



たり、共に行動することでそれまでの自分にはない視点を得られる。そういった得られたもの全てが成長だと考えています。

結果的に多少のハードワークもありますが、少しの負荷を良しとし、一緒に成長していけるような、そんな場所にしていきたいです。

今期もどうぞ、よろしくお願いいたします！

来賓代表として SPACE-21 小澤代表幹事よりご挨拶をいただき、「地方の会では縮小が進んでいる中で、FACEは規模も大きくエネルギー。“負荷を由とし、それを喜んで受ける風土”は本当に素晴らしいですね(笑)」…と、なかなかパンチの効いた褒め言葉(?)と、最後には「これからも負荷をかけ続け、ハードワークを愛する団体であり続けてください」の応援(エール?)も頂戴しました。

改選期ではない今回の総会議案のポイントは、印青連の役員の入れ替えが行われたことと、予算配分において他団体のイベントなどへの参加補助を手厚くしたこと、一部規約改定などがあげられ、どれも全会一致で承認いただけました。

FACEのメンバーは総会後恒例の懇親会が楽しかったようで、総会時と懇親会参加者の人数がほとんど変わらないことが特徴です。来賓の方々にも残ってもらい更なる交流を深めることができました。

おいしい料理とお酒を囲んで、今期の盛会を予感できる総会となりました。

FACEは東グラの青年会としてジャグラ東京大会の大懇親会と二次会を担当しております。FACEの勢いそのままに懇親会に力を注いでおります。FACEメンバー一同ジャグラの皆様と東京浅草でお会いできることを楽しみにしております。



事務局日誌と
今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

5月の事務局日誌

- 1日 Pマーク審査会(本部) → 田中専務、今田 広報委員会(Web会議)
- 2日 正副会長会議(Web会議)
- 7日 MIS研究委員会(Web会議)
- 9日 定期監査(本部) 理事会(本部)
- 13日 サスティナブル委員会(Web会議) Pマーク現地審査(徳島) → 今田 ジャグラコンテスト委員会(Web会議)
- 14日 日印産連ステコミ → 田中専務 会員拡大特別委員会(Web会議)
- 15日 業態進化委員会(Web会議)
- 16日 ジャグラショートカット委員会(Web会議) ホリゾン・スマートソリューションフェア 2025 in 東京
- 17日 中国地協総会(広島) 東北地協総会(秋田) → 田中専務
- 22日 Pマーク現地審査(神奈川) → 今田 東京大会実行委員会(本部) → 岡本会長、田中専務 日印機工懇親会(東京) → 田中専務
- 23日 地域活性化委員会(Web会議) ジャグラ茨城(水戸) → 田中専務
- 24日 四国地協総会(香川) → 田中専務 長野県支部総会(長野) → 岡本会長
- 26日 70周年誌編集委員会(Web会議)
- 28日 東京グラフィックス総会(東京) → 岡本会長、田中専務 SPACE-21 幹事会(Web会議)
- 30日 北海道支部総会(釧路) → 岡本会長、田中専務

6月のスケジュール

- 2日 広報委員会(Web会議)
- 4日 MIS研究委員会(Web会議)
- 7日 九州地協総会(福岡) → 田中専務
- 9日 ジャグラコンテスト専門委員会(Web会議)
- 10日 正副会長会議(Web会議) Pマーク審査員フォローアップ研修(印刷会館)
- 11日 日印産連総会(東京) → 岡本会長、原田副会長、田中専務 千葉県支部例会 → 岡本会長、田中専務 JIPDEC 指定機関連絡会議
- 13日 Pマーク現地審査(福島) → 今田
- 21日 第67回ジャグラ文化典東京大会
- 25日 Pマーク現地審査(長野) → 今田

7月のスケジュール

- 1日 広報委員会(Web会議)
- 3日 正副会長会議(Web会議)
- 4日 年賀状デザインコンテスト審査会(本部)
- 7日 生産性向上委員会
- 9日 Pマーク審査会 → 田中専務、今田
- 11日 理事会(本部)
- 16日 ジャグラテスト InDesign セミナー(Web) 会員拡大委員会(Web)
- 22日 日印産連ステコミ → 岡本会長、田中専務
- 23日 ジャグラテスト Illustrator セミナー(Web)
- 25日 神奈川支部 60周年総会・祝賀会(横浜) → 岡本会長、田中専務
- 27日 印刷屋さんのお仕事展(はるみらい)
- 28日 印刷屋さんのお仕事展(はるみらい)
- 31日 栃木県支部総会 → 岡本会長

事・務・局・便・り

皆様はじめまして。4月21日より事務局の一員となりました、笠原 賢一郎と申します。これまではホテル業界に従事しており、お客様一人ひとりに寄り添うサービスを追求してまいりました。その経験を活かし、今後は会員の皆様に向け、サポートをご提供できるよう尽力してまいります。47歳という年齢での新たな挑戦ではございますが、これまでの経験を糧に、事務局の一員として、微力ながら、皆様の活動を円滑に進めるための一助となれるよう、真摯に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。(笠原)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』883号

■発行日 令和7年6月10日(毎月1回)
■発行人 岡本 泰
■編集人 本村 豪経
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/

ジャグラは一般社団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長
委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事
委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷
谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)
野口 聡 東京 / (株)アクティブ
小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング
安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版
蛇嶋 悠太 広島 / (株)ideal
三宮 健司 高知 / (有)三宮印刷
佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ
西谷 毅 東京・文京 / 西谷印刷(株)
松谷 勝広 東京・文京 / (株)松谷メールサービス
笹井 靖夫 東京・文京 / 共立速記印刷(株)
田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正

田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
長野未奈美 古田 理子 笠原賢一郎
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平
◎広告 田中 良平
◎Web 阿部奈津子 古田 理子
◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ(大分県支部)
DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂(高知県支部)
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

Copyright 2025 JaGra
禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

【雑学コラムお題の答え】うだつ

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

